

(パスワード不要の実際的一般公開ページ)

ユーザはここからログインするんだね

ログインする時は漢字、ひらがな、カタカナは全角、英数字は半角です。英数字は大文字・小文字の区別をしっかりと確認して下さいね！

初めの方はこちらへ

新着コンテンツ

2007/03/06 18:25  
【小樽市感染症危機対策ネットワーク】発足

2007/01/19 16:21  
館不二家が期限切れの牛乳を使用してシュークリームを製造した件について(2/7更新)

2007/03/01 18:45  
【情報提供】インフルエンザ治療に携わる医療関係者の皆様へ＝インフルエンザ治療開始後の注意事項についてのご案内 2007/03/01

2007/02/02 19:55  
【情報提供】(国別感染症情報2007年1月)＝国別感染症情報一覧を作成いたしましたので掲載いたします。関西空港検疫所ではWHO、CDC等からの各国の感染症発生情報を定期的に翻訳しています。これは一ヶ月分をまとめて一覧にしたものです。日常の業務にお役立てください。

新聞やHPに掲載されているのと同じ、一般公開情報だけが見られるんだ

(パスワードでログインした実際ของผู้公開ページ)

ユーザ公開のページは項目がいっぱい！1つずつ見ていこう！

情報欄

フォーラム

e-learning

新着コンテンツ

2007/03/06 18:25  
【小樽市感染症危機対策ネットワーク】発足

2007/02/15 16:24  
平成18年度第4回健康危機管理保健所長等研修会(＠国立保健医療科学院)が終了しました。

2007/03/01 18:45  
【情報提供】インフルエンザ治療に携わる医療関係者の皆様へ＝インフルエンザ治療開始後の注意事項についてのご案内 2007/03/01

2007/02/02 19:55  
【情報提供】(国別感染症情報2007年1月)＝国別感染症情報一覧を作成いたしましたので掲載いたします。関西空港検疫所ではWHO、CDC等からの各国の感染症発生情報を定期的に翻訳しています。これは一ヶ月分をまとめて一覧にしたものです。日常の業務にお役立てください。

コンテンツ・フォーラムのアクセスランキング

防災リスクマネジ

# 「情報棚」の主なコンテンツ紹介 (事例集)

### 情報棚

- リンク集
- 事例集
- 対応マニュアル
- 健康危機管理研修教材
- 健康危機管理情報Q&A
- 専門家所在情報
- 健康危機情報に関するマスコミ発表資料
- 厚生労働省からの情報
- 厚生労働省からの通知・事務連絡

検索ワード

分類 ?

都道府県


発行日範囲

検索結果

表示件数

事例集見本

まずは事例集を見てみよう。クリックすると検索画面の下に詳細項目が出てきたぞ...



検索

公開	日時	分類	タイトル	詳細
公開	2007/03/06 18:25	感染	「小樽市感染症危機対策ネットワーク」発足	<a href="#">詳細</a>
公開	2007/02/27 10:35	食品	健康危機事例(食中毒/熊本県)腸炎ビブリオ	<a href="#">詳細</a>
公開	2007/02/26 11:01	不明、感染、災害、食品	健康危機管理合同訓練実施報告書(熊本県御船保健所)	<a href="#">詳細</a>
公開	2007/02/20 10:10	食品	健康危機事例(食中毒/福岡県)サルモネラ菌	<a href="#">詳細</a>

# 「情報棚」の主なコンテンツ紹介 (事例集)

### 情報棚

- 地理情報システム
- 健康危機管理チェックリスト
- 健康危機管理評価シート
- 広域的派遣データベース

検索ワード

分類 ?

都道府県


発行日範囲

検索結果

表示件数

事例集見本

「詳細」ボタンから具体的な記事の内容を確認できるんだ。添付資料やリンクもつけられるんだね。



検索

公開	日時	分類	タイトル	詳細
公開	2007/03/06 18:25	感染	「小樽市感染症危機対策ネットワーク」発足	<a href="#">詳細</a>
公開	2007/02/27 10:35	食品	健康危機事例(食中毒/熊本県)腸炎ビブリオ	<a href="#">詳細</a>
公開	2007/02/26 11:01	不明、感染、災害、食品	健康危機管理合同訓練実施報告書(熊本県御船保健所)	<a href="#">詳細</a>
公開	2007/02/20 10:10	食品	健康危機事例(食中毒/福岡県)サルモネラ菌	<a href="#">詳細</a>

作成日 2007/03/06 18:25 事例集見本

更新日 2007/03/06 18:25

作成者 システム管理者1

分野 感染症

都道府県 北海道

タイトル 「小樽市感染症危機対策ネットワーク」発足

説明 小樽市では、市内の医療機関、高齢者施設、教育機関などと、感染症危機情報を共有し、新型インフルエンザ等感染症危機に備えるために、これらの施設との間で、ネットワーク「小樽市感染症危機対策ネットワーク」の整備を進めています。

国内外の情報や、ネットワーク参加施設からの感染症発生情報などを収集し、ホームページ、FAXで情報提供を行っています。  
本記事から情報を知りたい、相談したい場合にはお問い合わせください。

<http://www6.ocn.ne.jp/~otaruho/index.html> **リンク**

添付のとり、3月2日の情報をお送りいたします。  
地域での取り組みとして、参考とさせていただければ幸いです。


問い合わせ先: 小樽市保健所

添付資料 [2.用ニ制する指針\(インフルエンザ\)作成\(08.05.16\)](#) **添付資料**

キーワード 小樽市 小樽市感染症危機対策ネットワーク 感染症発生情報

一般サイトへの公開一統公開する

次に厚生労働省からの情報を見てみよう。



# 「情報棚」の主なコンテンツ紹介 (厚生労働省からの情報)

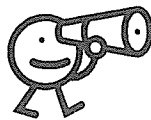
**情報棚**

- リンク集
- 季節集
- 対応マニュアル
- 健康危機管理研修教材
- 健康危機管理情報Q&A
- 感染症情報
- 情報に関するマニュアル
- 感染症科
- 厚生労働省からの情報
- 厚生労働省からの通知・連絡速報

**道具箱**

- 地理情報システム
- 健康危機管理チェックリスト
- 健康危機管理評価シート
- 広域的派遣データベース

さっきと同じ、  
クリックすると  
検索画面の下  
に詳細項目が  
出てきて...



検索ワード

分類 ?

- 全分類
- 原因不明感染症
- 食中毒等・重大感染症
- 医療安全
- 介護等安全
- その他
- 感染症
- 虐待
- 精神保健医療
- 児童虐待
- 医薬品医療機器等安全
- 食品安全
- 飲料水安全
- 生活環境安全

都道府県

発行日截止  ~

検索結果  最新情報風  古い情報風  アルファベット順

表示件数  10件  25件  50件

**検索**

公開日時	分類	内容	詳細
公開 2007/03/01 18:45	感染、医薬	【情報提供】インフルエンザ治療に携わる医療関係者の皆様へ＝インフルエンザ治療開始後の注意事項についてのお断り 2007/03/01	<input checked="" type="button" value="詳細"/>
公開 2007/02/09 14:49	感染	「新型インフルエンザ対策ガイドライン」に対する意見及び保健所の新型インフルエンザ対策状況調査の協力について	<input checked="" type="button" value="詳細"/>
公開 2007/02/02 19:55	感染	【情報提供】〈国別感染症情報2007年1月〉＝国別感染症情報一覧を作成いたしましたので掲載いたします。関西空港検疫所ではWHO、CDC等からの各国の感染症発生情報を定期的に翻訳しています。これは一ヶ月分をまとめて一覧にしたものです。日常の業務にお役立てください。	<input checked="" type="button" value="詳細"/>
公開 2007/02/02 10:50	感染	宮崎県における鳥類からのH5N1型のインフルエンザウィルスの分離について(参考記布)	<input checked="" type="button" value="詳細"/>

# 「情報棚」の主なコンテンツ紹介 (厚生労働省からの情報)

厚労省からの情報見本

検索ワード

分類 ?

- 全分類
- 原因不明感染症
- 食中毒等・重大感染症
- 医療安全
- 介護等安全
- その他
- 感染症
- 虐待
- 精神保健医療
- 児童虐待
- 医薬品医療機器等安全
- 食品安全
- 飲料水安全
- 生活環境安全

都道府県

発行日截止  ~

検索結果  最新情報風  古い情報風  アルファベット順

表示件数  10件  25件  50件

**検索**

作成日 2007/03/01 18:45

更新日 2007/03/01 18:45

作成者 システム管理者1

機関分類 自治体(保健衛生部局、自治体消防防災部局、保健所、地方衛生研究所、検疫所、地方厚生局、警察、消防、自衛隊、研究機関等、大学、医療機関、救命救急センター、医師会等、看護協会、薬剤師関係団体、民間会社等、中央省庁、その他)

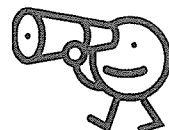
分野 感染症、医薬品医療機器等安全

都道府県 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、その他

タイトル 【通常対応】【情報提供】インフルエンザ治療に携わる医療関係者の皆様へ＝インフルエンザ治療開始後の注意事項についてのお断り 2007/03/01

説明 厚生労働省のホームページにインフルエンザ治療開始後の注意事項についてのお断りが掲載されましたのでお知らせします。  
<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2007/03/h270303-3.html>  
照会先: 医薬品医療機器等安全

公開日時	分類	内容	詳細
公開 2007/03/01 18:45	感染、医薬	【情報提供】インフルエンザ治療に携わる医療関係者の皆様へ＝インフルエンザ治療開始後の注意事項についてのお断り 2007/03/01	<input checked="" type="button" value="詳細"/>
公開 2007/02/09 14:49	感染	「新型インフルエンザ対策ガイドライン」に対する意見及び保健所の新型インフルエンザ対策状況調査の協力について(依頼)	<input checked="" type="button" value="詳細"/>
公開 2007/02/02 19:55	感染	【情報提供】〈国別感染症情報2007年1月〉＝国別感染症情報一覧を作成いたしましたので掲載いたします。関西空港検疫所ではWHO、CDC等からの各国の感染症発生情報を定期的に翻訳しています。これは一ヶ月分をまとめて一覧にしたものです。日常の業務にお役立てください。	<input checked="" type="button" value="詳細"/>
公開 2007/02/02 10:50	感染	宮崎県における鳥類からのH5N1型のインフルエンザウィルスの分離について(参考記布)	<input checked="" type="button" value="詳細"/>



これも「詳細」ボタンから記事の内容を確認できた。

# 「フォーラム」のコンテンツ紹介 (全員参加フォーラム)

情報欄

- リンク集
- 差別表
- 対応マニュアル
- 健康危機管理習得教材
- 健康危機管理情報Q&A
- 専門家所在検索
- 健康危機情報に関するマスコット素材
- 厚生労働省からの情報
- 厚生労働省からの通知・連絡速報

道具箱

- 地理情報システム
- 健康危機管理チェックリスト
- 健康危機管理評価シート
- 広域的派遣データベース

フォーラム

- 全員参加フォーラム**
- 協賛フォーラム
- アンケート
- 事務局からのお知らせ

別の記事、全員参加フォーラムをのぞいてみよう!

検索ワード

分野  全分野  
 原因不明性疾患  
 災害有事・重大健康危機  
 医療安全  
 介護等安全  
 その他

感染症  
 放射線  
 精神保健医療  
 災害虐待

医薬品医療機器等安全  
 食品安全  
 飲料水安全  
 生活環境安全

都道府県

発行日截止 年月日 - 年月日

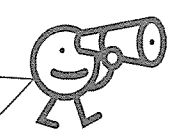
検索結果  最新情報  古い情報  アルファベット順

表示件数  10件  25件  50件

投稿日	日付	分野	タイトル	投稿者
下書き	2007/02/20 11:57	不明、感染、医療、災害、結核、食品、医療、精神、飲料、介護、児童、生活、他	「都道府県における検診後肝疾患診療体制に関するガイドライン」	匿名
公開	2007/02/20 10:57	生活	原子力災害時に用いる「安定ヨウ素剤」の写真がアップします。(財団法人救急救命東京研修所の猪狩和之教授より提供されたものです。)	匿名
公開	2007/02/15 16:33	不明、感染、医療、災害、結核、食品、医療、精神、飲料、介護、児童、生活、他	平成19年度第4回健康危機管理保健所長等研修会(国立保健医療科学院)が終了しました。	匿名

# 「フォーラム」のコンテンツ紹介 (全員参加フォーラム)

Blog形式の新しいところは、記事を見た人からのコメントや写真があって反応が分かりやすい!



検索ワード

分野  全分野  
 原因不明性疾患  
 災害有事・重大健康危機  
 医療安全  
 介護等安全  
 その他

感染症  
 放射線  
 精神保健医療  
 災害虐待

医薬品医療機器等安全  
 食品安全  
 飲料水安全  
 生活環境安全

都道府県

発行日截止 年月日 - 年月日

検索結果  最新情報  古い情報  アルファベット順

表示件数  10件  25件  50件

原子力災害時に用いる「安定ヨウ素剤」の写真がアップします。(財団法人救急救命東京研修所の猪狩和之教授より提供されたものです。)[公開]

分野:生活環境安全

ユーザー:コンテンツ管理者

錠剤の直径は5mm程度です。触るととても堅く、遺物は処分... 炎時には解除対象、とのことでした。

資料: [E70220\\_190670001\\_img09323k1](#)

キーワード: 原子力災害

コメント

ニックネーム: コンテンツ管理者 [2007/02/20 11:40] 公開

南保健センター宛のコメント有り難うございます。国立保健医療科学院の橋です。

保健所・保健センター等で写真映像が必要になった場合は、どうそこからお使い下さい。

皆さんからの写真提供も楽しみにお待ちしております!

写真がつけられる!

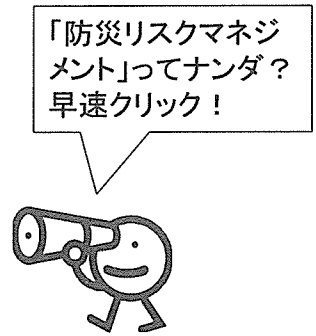
ニックネーム: 南保健センター [2007/02/20 17:59] 公開

研修会では貴重な勉強させていただきました。講義室で実際に手にとって確かめた感触、画像で再現できます。まことにありがとうございました。

見た人からコメントがもらえる!

# 「防災リスクマネジメント」の閲覧

The screenshot shows the homepage of the Disaster and Risk Management News Service. It features a search bar at the top, a navigation menu, and several news items. A magnifying glass icon highlights a specific article titled '【情報提供】インフルエンザ治療に携わる医療関係者へ三インフルエンザ治療開始後の注意事項について 2007/03/01'. A speech bubble next to it says '「防災リスクマネジメント」ってナンダ？ 早速クリック！' (What is Disaster Risk Management? Click it quickly!).



# 「防災リスクマネジメント」の閲覧

時事通信社のホームページ、毎日更新の防災情報を閲覧可能。

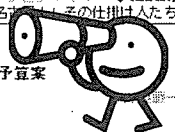
(通常はサイトの契約会員のみが閲覧できる)

The screenshot shows a list of news items under the heading '今日の防災一覧'. The items include:
 

- 07/03/07 ハタイ省で鳥インフルエンザを確認＝ベトナム獣医学局【健康危機、特集】
- 07/03/07 第2段階調査拒否を明言＝東洋町の核廃棄物問題で＝橋本高知県知事【原子力、トップ】
- 07/03/07 旅客機が着陸後炎上、21人死亡＝搭乗の日本人2人無事＝インドネシア【世界】
- 07/03/07 東北電、女川3号機の原子炉停止＝復水器の導電率が上昇【原子力】
- 07/03/07 【地域防災をつなぐ】山口大学地域共同研究開発センター 瀧本浩一さん【防災人】
- 07/03/07 外国人コミュニティーに防災用受信機＝神戸市【弱者、情報】
- 07/03/07 防犯カメラに運用指針＝熊本県【防犯】
- 07/03/07 水防専門家の派遣制度創設＝国土交通省【水/台風、人材】
- 07/03/06 スマトラ島中西部で地震、69人死亡＝負傷者も数百人に＝インドネシア【世界】
- 07/03/06 処分場調査、不認可を＝核廃棄物問題で意見を採択＝高知県議会【原子力】

 The sidebar on the right contains navigation options like 'ニュース解説', 'トップインタビュー', 'あの被災地は今', '電が聞たより', '編集局コーナー', '会員詳細', '取り組み事例紹介', '連載企画', '防災人日記', 'ログアウト', 'お気に入り', '登録済', 'ログイン', 'パスワード', 'パスワード', 'パスワード', 'パスワード'.

システムで契約しているから健康危機管理のユーザは無料で見られるんだ。毎日見て活用しよう！



# e-learningのコンテンツ紹介

## e-learningとは？

インターネットを使って、Web上で学習ができるシステムです。場所・時間を選ばず、インターネットに接続するPCならどこからでもアクセスできます。学習だけでなく、教材やテスト、アンケートを作ったりすることも可能です。

便利そうだけれど少し難しそう…？  
早速ここから見てみよう！



### 情報欄

- ☐ リンク集
- ☐ 査閲集
- ☐ 対応マニュアル
- ☐ 健康危機管理研修教材
- ☐ 健康危機管理情報Q&A
- ☐ 専門家所在情報
- ☐ 健康危機管理に関するマスコミ発表資料
- ☐ 厚生労働省からの情報
- ☐ 厚生労働省からの通知・要請連絡

### 工具箱

- ☐ 地理情報システム
- ☐ 健康危機管理チェックリスト
- ☐ 健康危機管理評価シート
- ☐ 広域的派遣データベース

### フォーラム

- ☐ 全員参加フォーラム
- ☐ 保健所長フォーラム

### e-Learning

### アンケート

事務局からのお知らせ

# e-learningのコンテンツ紹介

### 情報欄

- ☐ リンク集
- ☐ 査閲集
- ☐ 対応マニュアル
- ☐ 健康危機管理研修教材
- ☐ 健康危機管理情報Q&A
- ☐ 専門家所在情報
- ☐ 健康危機管理に関するマスコミ発表資料
- ☐ 厚生労働省からの情報
- ☐ 厚生労働省からの通知・要請連絡

### 工具箱

- ☐ 地理情報システム
- ☐ 健康危機管理チェックリスト
- ☐ 健康危機管理評価シート
- ☐ 広域的派遣データベース

### フォーラム

- ☐ 全員参加フォーラム
- ☐ 保健所長フォーラム

### e-Learning

### アンケート

事務局からのお知らせ

**H-CRISIS**  
健康危機管理支援情報システム e-Learning サービス

ユーザーID

パスワード

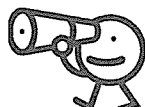
ユーザーIDをブラウザに保存する

ログイン

パスワードを忘れた方

IDとパスワードでログインすると…

ログイン画面が出てきたぞ。このIDとパスワードは、H-CRISISのものとは別なんだ。



### H-CRISISのID、パスワード

→ 役職に対して発行。異動の際は引き継いで使用。

### e-learningのID、パスワード

→ 個人に対して発行。異動しても変更なくそのまま使用。

# e-learningのコンテンツ紹介

H-CRISIS  
健康危機管理支援情報システム e-Learning サービス

[教材を作る](#) [運用・管理する](#) [HOME](#) [ヘルプ](#) [ログアウト](#)  
ユーザ: admin | [マネージ]

**インフォメーション**

健康危機管理支援情報システム内の[e-Learning]および[アンケート]については、当システムに最初にログインするためのIDではなく、専用のIDをご利用いただくこととなります。これは、システムログインのためのIDが「役職ID」であって、異動のたびに引き継いでいくものであるのに対し、研修やアンケートのためのIDは「個人ID」であり、移動しても変わらず、ずっと使えるものであるからです。

**コース選択**

**健康危機管理研修**

受講可能期間: 2007/01/01 ~ 2010/12/31

**原因不明感染性胃腸炎群発症の集団発生に対する保健所の対応**

受講可能期間: 2007/01/01 ~ 2010/12/31      前回受講日: (未)

**原因不明脳症の究明～感染症集団発生時の疫学調査を学ぼう～**

受講可能期間: 2007/01/01 ~ 2010/12/31      前回受講日: (未学習)

**新・健康危機管理支援情報システム(H-CRISIS)の概要**

受講可能期間: 2007/01/01 ~ 2010/12/31      前回受講日: (未学習)

**地域における健康危機管理シミュレーション(都山先生)**

受講可能期間: 2007/01/01 ~ 2010/12/31      前回受講日: (未学習)

**「原因不明脳症の究明～感染症発生時の疫学調査を学ぼう～」**

**学習教材がたくさん！  
試しに1つ見てみよう！**

**公開コンテンツ最新一覧**      [最新の状況](#)

タイトル	最新の状態
研修コンテンツ20061004	最新
新規(URD)コンテンツ	最新
FLASH	最新

[一覧を表示する](#)

**公開コース一覧**

該当するコースはありません。

©CCDS National Institute of Public Health

# e-learningのコンテンツ紹介

H-CRISIS  
健康危機管理支援情報システム e-Learning サービス

[教材を作る](#) [運用・管理する](#) [HOME](#) [ヘルプ](#) [ログアウト](#)  
ユーザ: admin | [マネー]

**コースTOP**

受講開始 [START](#) (目次へ)

**FAQ**

**掲示板**

**質問BOX**

**ご意見・ご要望**

**受講設定**

**選択コース**

**原因不明脳症の究明～感染症集団発生時の疫学調査を学ぼう～**

**インフォメーション**

このコースに関するインフォメーションはありません。

**受講情報**

受講可能期間: 2007/01/01 ~ 2010/12/31	前回受講日時: 未学習
次回受講場所: 「第1章」	
受講開始日:	受講完了予定日:

**受講開始** 開始

未読の回答はありません。

質問BOX (回答を確認)

**進捗状況 [%]**

現在位置      平均

現在進捗

0
10
20
30
40
50
60
70
80
90
100

**このボタンから受講開始だ！**

**FAQ**

このコースに関する、よくある質問と回答集 (FAQ) です。

**掲示板**

このコースの受講者が参加できる電子掲示板です。

**ご意見・ご要望**

学習上の問題やご意見、ご要望などを伝えることができます。

**受講設定**

受講に関する設定を行います。スケジュール調整はできません。

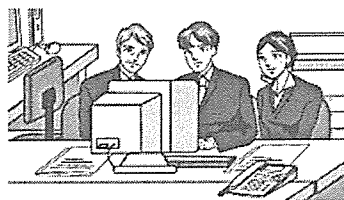
# e-learningのコンテンツ紹介

実地疫学ケーススタディ用 e-Learning教材

## 「原因不明脳症の究明」

～感染症集団発生時の疫学調査を学ぼう～

1. 複数人の職員(中堅職員・新人職員・専門職、等)が受講者として同時に演習に取り組む。各質問に対して受講者どうしが討論・意見交換することにより実践上の問題点を修得出来る。



2. 職員各自(地域保健行政の新人職員等)が演習に取り組む。質問回答に必要な不明箇所を立ち止まって調べるなど、自分のペースで修得する事が出来る。



アニメみたいで見やすいし、面白そうだ!



それでは演習をはじめましょう。

GOOD LUCK !



# e-learningのコンテンツ紹介

原因不明脳症の究明 ～感染症集団発生時の疫学調査を学ぼう～

TOP ページ

第一部 フロローグ

第二部 集団発生の確認

第三部 広域事例への対応

第四部 原因追求のためのチーム作り

第五部 聞き取り調査と

疫学

ビローク

動画と音声で学習できる! こんなの今までなかったよね!



2004年10月中旬  
A保健所の  
感染症担当者

感染症担当部門

2004年10月中旬A保健所(A県O病院を管轄)から県の感染症担当部門に、県内の透析機関から原因のはっきりしない脳炎様症状を呈する患者が複数名搬送されたという情報提供がありました。

Navigation controls: Previous, Play/Pause, Next, 1/9, Full Screen



# e-learningのコンテンツ紹介

原因不明感染性胃腸炎様疾患の  
集団発生に対する保健所の対応

## アニメーションを利用した研修教材



この行な  
利

各地で学ケースタディ用「e-Learning」教材  
「原因不明脳症の究明」  
～感染症集団発生時の疫学調査を学ぼう～

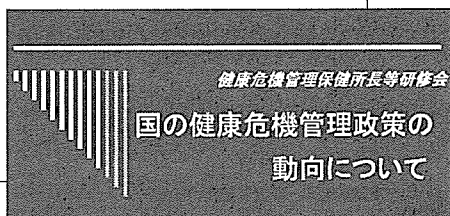
1. 複数人の職員(中堅職員・新人職員・専門  
職、等)が研修者として同時に演習に取り組  
む。各質問に対して研修者どししが付録。想  
見交換することにより業務上の問題点を把握  
し、解決。

原田平朝脳症の究明 ～感染症集団発生時の疫学調査を学ぼう～

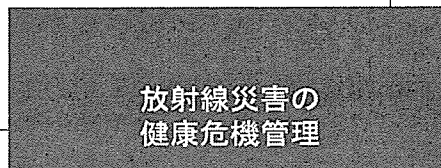
2. 職員  
が演習  
箇所を  
スで修

TOE ページ	2004年10月中旬 A保健所の 感染症担当部署
20～30分程度	感染症担当部署
第二巻 集団発生と疫学	2004年10月中旬A保健所(仮称)の感染管理科から の感染性腸炎担当部署に、県内の最新情報から伝染の 状況が異なる。感染症発生を疑う患者が複数報告 されたという情報提供がありました。
第三巻 疫学調査への 対応	
第四巻 疫学調査の 実践	
第五巻 疫学調査と 保健所	
第六巻 研修促進	
第七巻 次回へつな ぐ	
最終ページ	

化学物質・毒物への対応(総論)  
地域における健康危機管理体制の構築

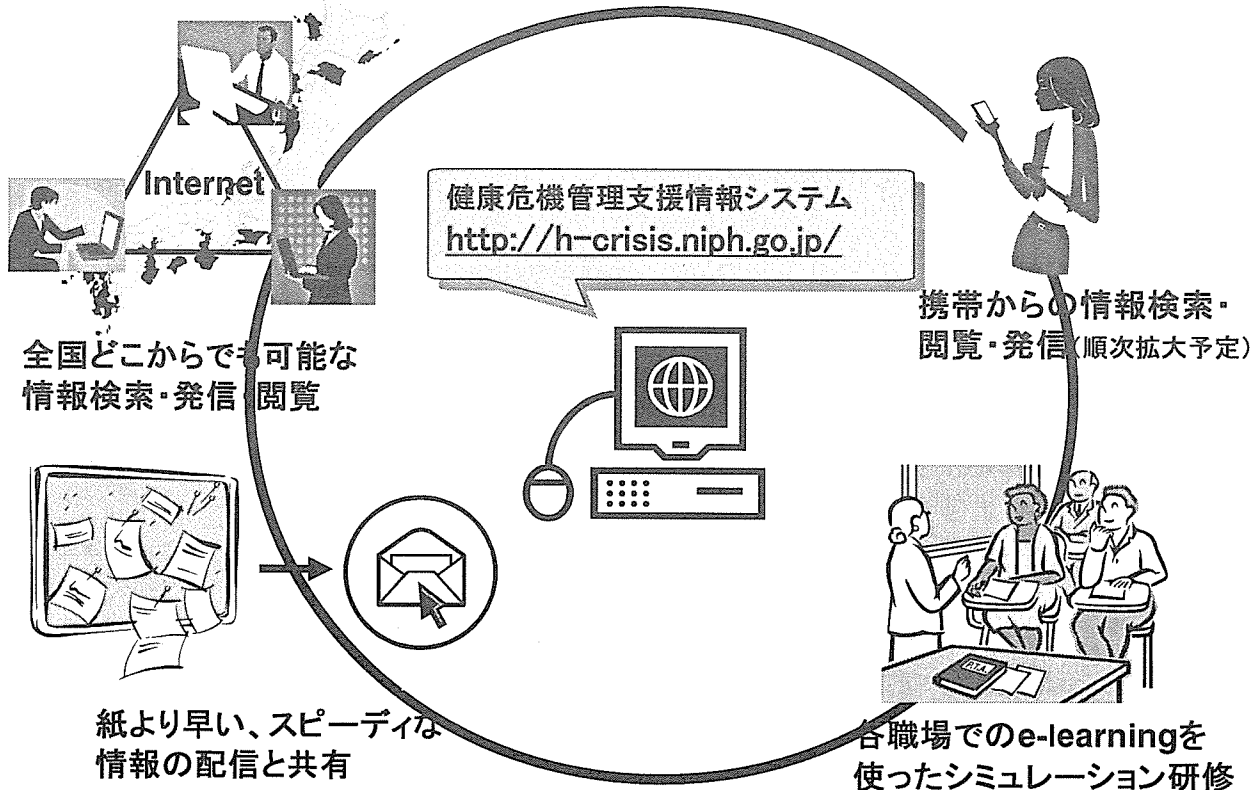


健康危機管理保健所長研修  
災害とメンタルケア

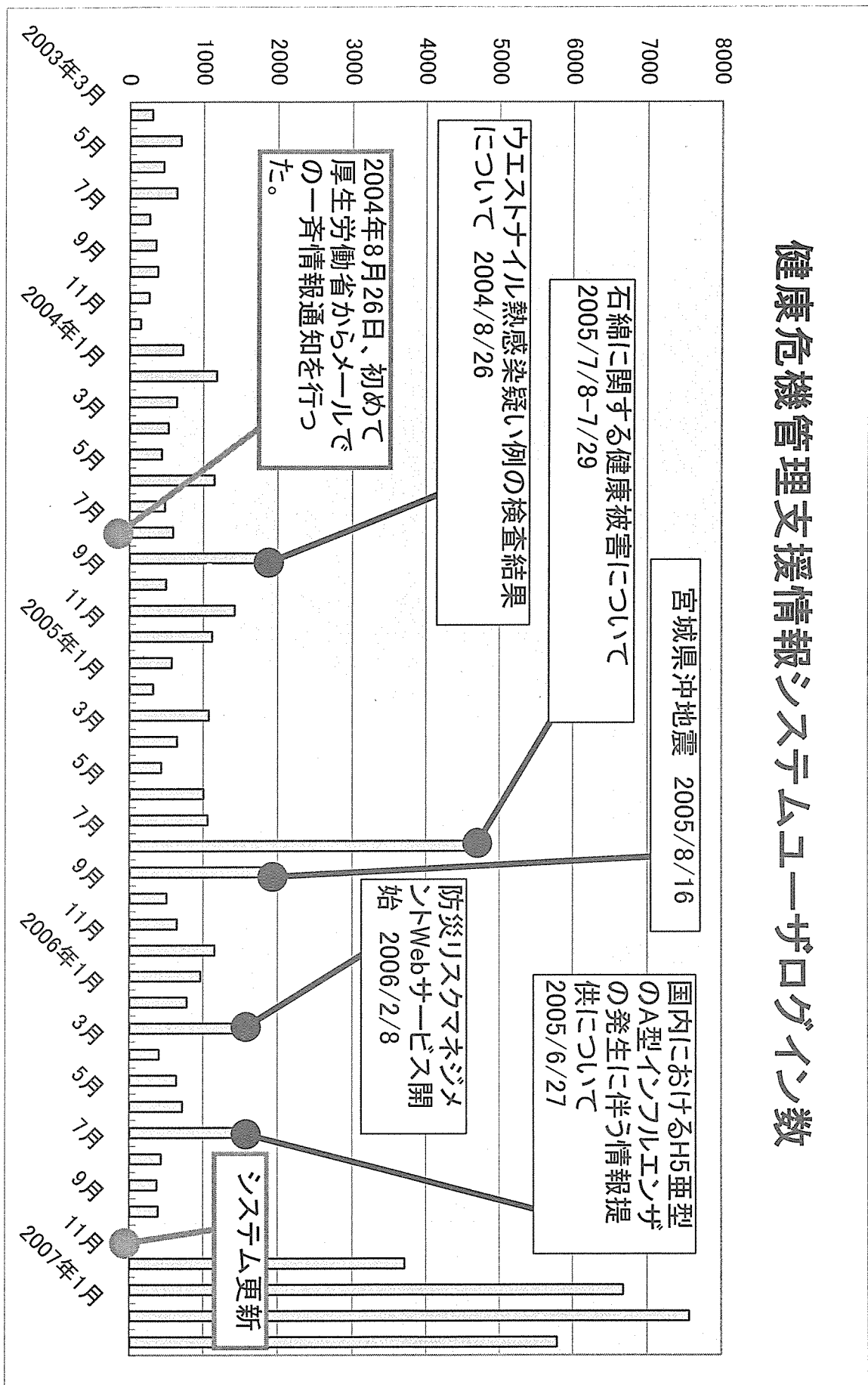


## 各種講習会の参考資料など

## 使えば便利！早速アクセスしてみませんか？



## 健康危機管理支援情報システムユーザログイン数



平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金（地域健康危機管理研究事業）  
健康危機管理情報の網羅的収集/評価 および 統合/提供に関する調査研究  
（主任研究者：緒方裕光）

## 健康危機管理支援情報システムにおける地域フォーラム （ネットワーク）の検討（第 3 報）

研究協力者 東京都八王子保健所 上木隆人

### 要旨

平成 15 年度から 17 年度において、国立保健医療科学院の健康危機管理支援情報システム（新システム）における地域フォーラムのモデルとして、感染症情報を取り扱う県境フォーラムを設定し、その体制づくりを進めてきた。18 年度には新システムが改訂されて発足するのを待ち、その新システムに県境フォーラムを載せ、地域フォーラムのモデルとして体制づくりを進めた。新システムは発足が少し遅れたが、地域フォーラムモデルを作成する立場から新システムの使いやすさを検討した。

新システムは当初のイメージに比較してまだ実現されていない部分もあり発展途中であるが、県境フォーラムを新システムに載せて運営する事には問題は無かった。しかし、新システムの中での県境フォーラムへのたどり付き方や使い方の点では新システムの考え方や方法の面で課題が多くあった。地域の立場からは地域で使いやすいものを期待したいが、その点では新システムではまだ地域の医師会等の関係団体が参画できる形にはなっていない点も今後の課題である。

今回検討してきた県境フォーラムは、現状では他には見られない情報交換の場であり、かつ必要性は非常に高いモデルであると考えられ、大変意義も大きい。また新システムの活用を広く促進する手段としても十分活用できるものと考えられる。課題を残して研究班活動を一端終了するが、今後再開する場合の地域フォーラムの運営体制としては、国立研究機関や地方衛生研究所の参画協力は必要とするが、地域の保健所が中心となったものを考えていくべきと考えられる。

### 研究協力者

感染研感染症情報センター	岡部信彦	相模原市保健所	深澤博史
	多田有希		堂園浩次
	安井良則	神奈川県津久井保健所	玉井拙夫
保健医療科学院	橘とも子	東京都南多摩保健所	渡辺直大
神奈川県衛生研究所	林 眞	東京都町田保健所	斉藤麗子
	水野桂子		斎川紀子
東京都健康安全研究センター	神谷信行		富山文子
	灘岡陽子	東京都八王子保健所	鶴見節子
	篠崎和行		

## A. はじめに

国立保健医療科学院では、国の検討報告書3)を受けて健康危機管理支援情報システムを立ち上げ、その充実のための研究活動を、健康危機管理情報の網羅的収集・評価及び統合・提供に関する調査研究(主任研究者 国立保健医療科学院研究情報センター 緒方裕光)として進めてきている。我々の研究グループは主任研究者の基で研究協力者として、健康危機管理支援情報システムに盛り込まれる地域フォーラムについてモデルを設定し、地域フォーラムの普及推進を図る研究を行う事を目的としている。

平成15年度には、その検討の初年度として地域フォーラムのイメージを検討し、具体的には東京都と神奈川県を対象地域として感染症情報を取り扱うモデルを設定し、それを「県境フォーラム」と称し、研究を行った。地域としては東京都と神奈川県のある県境をはさむ6つの保健所管轄区域とし、取り扱う内容は感染症サーベイランス情報から7つの感染症とし、その日常の感染症情報交換体制を基盤として健康危機管理に対応できる地域フォーラムを目指すものとして、モデル体制の構築を進めた。

平成16年度には、感染症情報の捉え方について地域の視点から検討し、感染症発生の地域差の存在、法定定点以外に各保健所で設定されている独自定点の意義が確認されるとともに、東京都の設定している定点数が非常に少なく、問題である事も指摘した。また、医師会定点に対するアンケート調査から、県境フォーラムに対する期待も確認できた。平成17年度はこれらの活動を継続し、県境フォーラム活動を軌道に乗せた。

平成18年度は、国立保健医療科学院の新システムが発足する事を睨んで、県境フ

ォーラムを新システム上で運営する事を主課題とし、一方で、研究責任者の所属における保健所政令市移管業務によって研究活動の継続が難しくなる事情があり、上記の経緯と現状の問題点をふまえ、今年度で一端研究活動を終了する前提で研究活動をまとめていくものとした。

## B. 平成18年度の研究課題

平成17年度までの研究経緯から、残された課題として上げられていたものは、1. 県境フォーラムを新システムに載せて運営する事の検討、2. 県境フォーラムへの医師会の参画の検討、3. 研究活動から日常業務活動に移行することの検討、4. 健康危機管理の視点からの体制づくり、などがあげられていた。また、平成18年度で一端研究活動を終了する点からは、研究活動の再開の条件も合わせて課題とした。今年度はこれらの中から、県境フォーラムを新システムに載せて運営することと、研究終了後の再開条件の検討を第一とし、県境フォーラムへの医師会の参画については、研究活動が継続されるのであれば課題として積極的に取り上げやすいが、終了という事から参画の条件づくりにとどまる検討とした。また、研究活動から日常活動に移行することと、健康危機管理の視点からの体制づくりは再開後の課題とした。

## C. 研究方法

昨年度までの研究方法は、地方衛生研究所全国協議会のサーバーを借りた週毎の感染症情報の提供と、メーリングリストを使用した意見交換を中心としてきている。15年度の研究報告書1)にも記載しているように、地域フォーラム体制の検討を行う研究段階では、使いやすいサーバー機能の確保を要すると考え、新システムに載せるまでこの方法を継続してきている。

国立保健医療科学院の新システムは、当初18年度早々に発足する予定であったが、秋に延期になった。その発足後、11月から県境フォーラムを新システムに載せ、県境フォーラムの運営を実施し、そのシステムの使いやすさ、地域フォーラムとしての効果、メーリングリスト方式との比較などを検討し、問題点から課題を整理した。

県境フォーラムの内容は、東京都と神奈川県との県境を挟む6保健所（東京都－八王子保健所、南多摩保健所、町田保健所、神奈川県－相模原市保健所、津久井保健所、大和保健所）の管轄区域の感染症発生動向調査情報を収集し、グラフ化したものを共有して班員で交代でコメントをつけ、出来るところは地域の定点医療機関にも提供するものである。疾患はインフルエンザ、A群溶血性連鎖球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、風疹、ヘルパンギーナの7疾患で、その集計やインターネット搭載については神奈川県衛生研究所と東京都健康安全研究センターが行った。詳細は15年度16年度報告書を参照。なお、相模原市保健所と、東京都八王子保健所においては法定定点以外に独自定点があり、独自定点の情報は国のまとめるサーベイランス情

報に含まれておらず、それぞれの保健所の独自集計結果と県境フォーラム情報にしか現れてこない。この詳細、独自定点等については平成15年度及び16年度報告書を参照。

6保健所の19年2月現在の定点医療機関の数を表1に示す。平成18年12月に東京都ではインフルエンザ定点数を増やしている。

#### D. 研究結果

(1) 新システムに県境フォーラムを載せた結果の評価

(i) 全員参加フォーラムの使いやすさ

新システムにおける情報の載せやすさ、情報交換のしやすさ、及び全員参加フォーラムの使いやすさについて検討した。

県境フォーラムを新システムに載せる載せ方としては、県境フォーラムの地域フォーラムとしての位置づけと情報交換の進め方から、全員参加フォーラムか保健所長フォーラムに入るのが適切と考えられた。保健所長フォーラムでは保健所長に限られ、主旨にそぐわず、全員参加フォーラムに載せる形を検討した。

(表1) 6保健所の定点医療機関数(平成19年3月1日時点)

保健所名	法定定点数		独自を含む定点数	
	小児科	インフルエンザ	小児科	インフルエンザ
八王子	2	8	13	14
南多摩	3	8	3	8
町田	2	7	2	7
相模原市	14	22	27	35
大和	7	11	7	11
津久井	2	3	2	3

全員参加フォーラムへの載せ方としては、決められた方法で掲載し、その方法に特に問題なかった。しかし、県境フォーラムとしての使いやすさからは、問題があった。新システムに入ってから県境フォーラムにまで到達しにくい、見つけにくい、画面が見にくい、などである。これには、班員が新システムや全員参加フォーラムを使う事になれていない事も理由として考えられるが、文字が全部同じフォントである事や、画面のイメージが何処を選んでも同じような印象であるため、目的のものを画面内で見つけにくいことがある。また、全員参加フォーラムでは新しい情報が古い情報の上に加わっていき、毎週のコメントを追加更新しても県境フォーラムの位置が下になっていくので、一層県境フォーラムを見つげにくくなった。また、全員参加フォーラムに載せたトップの情報は追加や修正が出来ないシステムになってので、県境フォーラムのように一つのテーマについて長期間意見交換をしていくという場づくりを新システムでは行いにくかった。

県境フォーラムはそれまでメーリングリストを主たる場として検討を行ってきた。それとの比較からも新システムの使いやすさに問題が生じたと考えられる。

(ii) 全員参加フォーラム以外の搭載について

全員参加フォーラムや保健所長フォーラム以外の場所では、リンク集や事例集への搭載が考えられる。リンク集ではリンクを張る対象として位置づけすることになるが、機関が対象となることが通常であることから好ましくない。事例集では、ログインの前後で内容が異なってくるが、どちらもそのサイトのイメージが健康危機管理事例であるので、事例を挙げる主旨とそぐわなくなる。しかし、事例集でも掲載記事についてコメントを付けられるようになって

いるので、県境フォーラムを運営できないわけではないと考えられる。むしろ、新システムにおける地域フォーラムという場をどのように位置づけどのように確保しようとするか、どのように新システムを利用してもらおうとするか、そのイメージが新システムでは作りにくいと考えられた。

(2) サーバー機能についての要望について

県境フォーラム研究の立場から新システムに対して持っていたイメージは、毎週の感染症情報のデータベースがあり、まとめられた情報を表示していくサーバー機能を持ち、そこから得られる感染症情報について県境フォーラムメンバーがコメントし、意見交換をしていくという場が新システムで確保できるというものであった。しかし、出来上がった新システムはブログ機能を中心としたイメージで出来上がっており、当初のイメージとの乖離があった。この乖離を埋める事を検討したが、具体的には、システムの基本的な問題となってしまうので、ここではその問題指摘に止めるものとした。

医師会定点に参加してもらおう事も当初から新システムに持っていたイメージであった。当初のシステム構成のイメージでは医師会、警察、消防も含んだ健康危機管理支援情報システムであったが、新システムの段階ではまだこれら医師会の参画は具体化されていない。この点は新システムの運営に関する基本的な問題であり、運営委員会での方針決定が必要となる課題である。運営を預かる保健医療科学院の中での検討もまだこれからのようである。

県境フォーラムとしては、地域の定点医療機関から得られる感染症情報は基本的に定点に（地域に）返すべきであり、地域においては定点医療機関を含んだ情報交換体制が必須であると考えるところから、健康

危機管理支援情報システムに定点医療機関を加えられるシステムをイメージしている。その基盤を持った地域フォーラムが新システムにつくられる必要があると考えるが、今年度で一端研究作業を終了するという事から、更なる検討は今後の課題として残す事とした。

### (3) 感染症発生動向システムの改善と県境フォーラムのシステム

県境フォーラムにおける感染症情報の法定定点の情報収集については、中央感染症情報センターのホームページから全国の保健所レベルの情報収集が昨年4月から出来るようになってきている。この点からは県境フォーラムが今まで作り上げてきた県境地域における感染症情報の収集解析提供の流れが東京都と神奈川県地方感染症情報センターの協力なしにも出来ること、及び県境地域の保健所を中心として行うことも出来る事を意味している。その点から、保健所を中心として体制を作り替えること、さらに感染症情報の地域での収集解析提供体制の見直しを計ることが、今後の地域での体制を考える上で重要である。

一方で、中央感染症情報センターが提供している情報に、法定定点以外の独自定点の情報が含まれていない事は、逆の大きな問題となる。特に東京都においてはもともと定点数が少ない事から、独自定点を設けて定点を増やす意義は大変大きく、その集計から得られる情報の必要性は大きい。同様に相模原市保健所においても、神奈川県の法定定点数は法基準に照らして十分であるが、加えて独自定点を含んだ情報がある事は大きな意義がある。その事からこれまでの県境フォーラムの独自定点を含んだ定点あたりの感染症情報の収集提供を行う考え方はむしろ必要であり、その意義が大きいことを確認できる。

### (4) 医師会定点との連携

#### (i) 医師会定点との連携について

感染症サーベイランスシステムでは、法定定点医療機関からの感染症発生情報を保健所が集約して地方感染症情報センター(地方衛生研究所等)と中央感染症情報センター(感染症研究所感染症情報センター)に送り、それぞれの感染症情報センターで整理された情報がまた保健所と定点医療機関に戻ってくる。定点医療機関に還元された形にはなっているが、本来であればリアルタイムに定点医療機関に還元されることが必要と考えられる。地域ではそれが出来るようにすべきであり、保健所では定点からの情報が集まった時点でその集計数は定点にすぐ返すことが可能である。現実にはその作業は地方感染症情報センターが行っているが、6保健所の一部の保健所では保健所で独自に行っている。

#### (ii) 各保健所の状況

町田保健所では管内の定点の報告を週報として管内約300箇所に還元している。希望する保育園、幼稚園、福祉施設、医療機関、学校などで、3分の2はメールで残りはFAXで送信している。FAXは医療機関に多い。その週報に県境フォーラムの情報も入れる事もある。

南多摩保健所では定点医療機関と希望する医療機関と管内3市行政にコメントを付けた情報提供をしているが、まだ県境フォーラムのURLの情報提供はしていない。

八王子保健所と津久井保健所ではURLを定点医療機関に提供して、インターネットにアクセスできる場所は見てもらっている。八王子保健所は独自定点を含む定点医療機関と八王子市小児感染症サーベイランスシステムを立ち上げている。

相模原市保健所は全医療機関にFAXで県境フォーラム情報を含んで提供している。法定定点以外に独自定点を持ち、地域性を

分析できる程の定点数を確保している。その成果は平成16年度研究報告書で報告した。

### (iii) 医師会の今後の参画とその方法

医師会の参画については、新システムを中心にして考える限り、新システムでの医師会の位置づけと参画方法が課題であった。今回、医師会の参画方法について研究班の班員となる方法を挙げていた。しかし、医師会の定点医療機関としての数はかなり多くなり、情報還元が全医師会員の場合もあることから、研究班員として位置づけるにも無理が生じた。地域の保健所としては、定点医療機関との協働は積極的に進めることを前提として作業を進めていくべき立場であることから、今後の検討においてもその立場をふまえた進め方が課題となる。今回は検討の時間も少なく、一端終了の予定でもある事から十分な検討は出来なかった。

## (5) 今後の研究活動について

(i)今年度で研究班を終了した後、再開する場合の必要条件を検討した。

### ・地方感染症情報センターの立場から

今後においては保健所が持ち回りで体制を維持できるような方法を考える事が必要である。地方感染症情報センターとしては協力はするし、今使っている発生情報集計システムを提供するが、今までと同じように情報収集提供システムを継続する事は難しい。

### ・保健所の立場から

地方感染症情報センターと保健所が協力して地域フォーラムモデルをつくる役割は果たしてきた。以後は地域の保健所が中心となって感染症情報交換の体制づくりを地域単位に行う方がよい。また、本来の目的である健康危機管理に関する体制づくりにつながるような動き方を地域の保健所が中心になって実践し、そこへ地方感染症情報

センターの協力をもらう方がよい。

医療について、患者の受診動向の地域性なども良く検討して、その結果をふまえて解析や政策を考える視点も必要である。患者受診の動向を見ると、津久井保健所管内でも上野原の方は八王子に流れ、城山の方は相模原に流れているなど地域性があると考えられるので、そのような視点で県境を見ていく意義は大きい。

日常的に感染症情報を交換できる体制づくりを目指しているが、本来は健康危機管理に対応するための県境における情報交換と体制づくりを考えているのであるから、その視点をしっかりと維持する事が必要である。

### ・医師会定点について

定点の立場になって考えると、定点医療機関の医師ばかりでなく、スタッフが関心を持ってもらえるような内容になるように考える事も必要である。

(6) 定点あたりの発生報告数の分析について

各疾患で異なるが、感染性胃腸炎のように定点あたりの報告数が多い疾患では、地域の定点あたりの発生報告数は流行期に100くらいまで上昇する。東京都や全国の集計になると、それは平均化されてピーク値は低くなる。しかし一方、全国や都道府県では、流行の立ち上がりやピークの見え方が地域で見るとより明確になってくる。また、地域では国や都道府県で見られない流行の動きがあり、それが地域の流行の特徴である。その点から地域の感染症情報は地域の医療機関に出来るだけ早く還元する意義が大きく、そこに地域フォーラムの存在意義もあるものと考えられる。

定点医療機関の特性が定点あたりの発生報告数に表れる事も地域単位にみる場合の大きなポイントである。定点医療機関の医



師の報告に対する積極性、その医療機関の受診患者の特性、定点の存在する地域性など地域の特性が表われてくる。

定点数がどの位必要かと言う視点からも、定点あたりの報告数を分析する上でふまえないといけない事がある。定点数が少ないと、発生報告数の少ない疾患において1件の報告の占める重みが違ってくる。定点数の多い保健所と少ない保健所では比較の上でこの点も留意する必要がある。東京都の定点数は非常に少なく、今年度インフルエンザ定点が増えたが、まだ少なめであるし、相模原市に較べれば少ない。まだ改善の余地がある。

## E. 考察

### (1) 新システムにおける地域フォーラムについて

国立保健医療科学院の健康危機管理支援情報システムにおける地域フォーラムのモデル実施を行い、システムが広く全国の関係者に使用されるために必要と考えられる地域フォーラムを検討してきた。当研究では地域フォーラムモデルとして県境フォーラムを検討し、健康危機管理支援情報システムが地域フォーラムを考えやすいように成果を提供してきたが、新システムにおいて、県境フォーラムを搭載して検討してみると、新システムにおける地域フォーラムの検討不足が現れてきたと考えられた。

新システムでは、様々な情報交換をイメージしてきているが、情報提供を主とした考え方と思われる。情報交換の場としては全員参加フォーラムや保健所フォーラムを設定してきている。事例集の場もあり、提供された事例について意見交換を行うことが出来るようになってはいる。しかし、県境フォーラムの様な、毎週情報が更新され、その内容についてコメントを行い、意見交換を行っていくことは事例集では想定して

いないと思われる。現状の中では全員参加フォーラムが適切と考えられたが、不足部分もあることから、さらに検討を要望する。

現在の全員参加フォーラムでは、新システムに参加している会員への情報周知の場として多く使われている。そのため、次から次へと新しい情報提供が行われ、全員参加フォーラムがその目的のためにあるとすれば、それはその役割を果たしていると考えられる。

新システムで検討している地域フォーラムという場では、リンク集のように活動を紹介できる機能と、事例集のように紹介された内容について意見交換を行うことの両方の機能が必要とされていると考えられる。リンク集でもなく、事例集でもなく、全員参加フォーラムでもない、地域フォーラムと言う場が新システムの中に設定されることが望ましいと考えられる。

また、地域フォーラムの必要性についてもさらなる検討を必要としていると考えられる。健康危機管理支援情報システムが当初のイメージで多くの関係団体との連携の基につくられるにしてもつukられないにしても、一方で全国の保健所や保健衛生行政機関が利用する際に利用しやすい形、利用頻度の大きいものが必要になる。それには、単に情報を得たり提供したりするだけでなく、システムのサーバー機能を活用して現場ではやりにくいものを行うことが出来やすくなれば、それがシステムを一層使いやすいものとしていくと考えられる。地域フォーラムを新システム内に設定する効果はそこにあると考えられる。県境フォーラムはその地域フォーラムモデルである。15年度報告書に記載したように、各都道府県や保健所で出来ることや、既存の設定されている情報交換システムで出来ることを除いて考えると、県境の様な、日常接しているながら全く情報交換が出来ずにいる地域に

における情報交換システム及び健康危機管理対応システムは大変に意義が大きいと考えられる。このような地域フォーラムの情報交換が新システムによって出来やすくなるように新システムを改善されることを望む。その際には結果でも述べた新システムの課題の具体的検討を望む。

## (2) 定点医療機関との連携について

地域においては、保健所と定点医療機関が密な連携をすることが、感染症の発生情報をまとめるだけでなく、積極的疫学調査を実施していく上でも大変重要である。特に新型インフルエンザのような健康危機管理事例の発生時には日常的にどれだけ発生情報を共有し、その背景に関する情報交換を行っていたかが大きく影響することになる。地域フォーラムが健康危機管理支援情報システムとして意義が現れてくるためにはそこまで進めていく必要がある。

その観点から、感染症発生動向調査では地域における感染症情報共有体制が重要であるし、まして、県境という隣県の行政情報が途絶える地域においては県境を挟む自治体の情報交換が日常的になされる体制の必要性は大変大きい。当研究班で試行してきている体制づくりはその点で意義があることから、その基盤である定点医療機関または医師会の新システムへの参画の可否については、大きな課題として今後検討すべきであると考えられる。保健医療科学院のシステムの当初の検討イメージには医師会がしっかりと位置づけられていたことから、その実現に期待したい。

## F. 地域フォーラム研究4年間のまとめ

### (1) 健康危機管理支援情報システムの充実と地域フォーラムの条件

健康危機管理支援情報システムのイメージは平成14年の厚生労働省の検討会報告

書3)に盛られているように、各々の機関が自らの対応能力の向上と関係機関との連携による総合的なものであった。システムがその機能を発揮するためには日常的に広く使用される状況をつくることが必要となり、それをもとに健康危機管理事例への適切な対応が一層出来るようになると考え、地域フォーラムはその一つの方法として研究課題として取り上げられ、我々の研究グループのテーマとなった。

地域フォーラムはシステムの全国レベルで考えられる他の機能とは別に、地域単位に考える健康危機管理事例への対応方法と位置づけした。まず、その地域としては、既存の情報交換システムから漏れており、尚かつ必要性の大きいものとして県境に注目した。隣り合っていないながらもっとも情報交換が足りず、必要性は高く、多くの県境があつてそれぞれ発展性があると考えられ、健康危機管理支援情報システムが果たす役割としても適当と考えられた。

新システムにおいてこのイメージを具体化するためには、地域フォーラムの条件となる、1. 地域単位の情報ネットワークを作りやすいこと、2. 地域単位の行動がとれる健康危機管理事例を含むテーマを取り扱えること、3. 地域の関係機関の参加が得られやすいこと、かつ関係機関の参加によって情報交換が役立ち、従来持てなかった関係づくりが出来ること、4. 取り上げたテーマについての地域での対策に情報ネットワークが生かされることをふまえた考え方が必要である。県境地域における感染症情報はその対象として大変適切と考えられ、新システムが充実されてさらに県境フォーラムのような研究活動が様々な地域で生まれ、実践されることが望まれる。

### (2) 地域の感染症情報の収集解析と定点医療機関との連携

感染症は健康危機管理事例として重要な位置づけを持つものであり、また日常的にも遭遇する事例の多いものである。その現状を把握するために定点医療機関を置き、全国に感染症発生動向調査が行われている。この集計は国立感染症研究所感染症情報センターを中心として行われ、都道府県では地方感染症情報センターが行っている。当研究では末端の地域（保健所管轄区域）単位の収集解析提供システムを検討し、リアルタイムな定点医療機関への還元を基本として考え、それぞれの疾患の流行の推移情報を出来るだけ早くまとめるようにした。さらに早くできると考えられるし、地域はそれを必要としていると考えられる。

その中で一つの課題は定点医療機関の数である。研究活動の中で東京都の定点数が非常に少ないことがわかった。定点数が少ないことによる、定点当たりの発生数の変動の大きさはその評価に影響を与え、評価に際し手注意しなければいけない点が多くなる。八王子市では小児科医の協力を得て独自に定点数を増やし、小児感染症サーベイランス事業を行っている。相模原市では法定定点数を充たしているところへさらに独自定点を増やして、市内の地域性を検討するに足る定点数を得ている。東京都では平成18年に定点数を増やしているが、インフルエンザ以外においてはまだ少ない状況であり、この解決を図る必要があると考えられる。

定点医療機関に情報還元する際に現状を出来るだけ反映している情報を還元するためにも情報の質の改善は必要となる。それが定点医療機関との連携を推進する上でも必要であり、システムづくりに役立つものと考えられる。

(3) 県境フォーラム研究活動再開の条件  
県境という地域を健康危機管理事例への

対応から考えることは大変意義深く、是非多くの県境で対応を考えるべきである。その際にこの報告書で述べた問題点への対応によって体制を整えることが一つの条件となる。感染症情報については法定定点情報について既に保健所レベルで発生上報が取れることから積極的に保健所レベルでの体制づくりが今後望まれる。そのための地域性を持った研究活動の推進が期待される。

当研究班においては残された課題が多くある。地域で感染症情報を収集解析提供出来るシステムを作ること、研究班活動から日常業務活動として取り扱えるよう体制づくりを行うこと、感染症情報だけでなく様々な健康危機管理事例に対応できる県境の条項交換システムへの発展を研究すること、これらのことを健康危機管理支援情報システム上で行えるようにすること、などがあげられる。これらに取り組む継続性を持つことが再開の条件と言える。

## G. おわりに

今回で一端研究作業を終了するが、課題を多く残している。課題解決のため研究活動が再開できることが期待されるが、合わせて上記の発想の地域フォーラムが国立保健医療科学院の新システムで可能となるよう検討が進むことを強く期待したい。

これまで地域フォーラム研究のためにご指導いただいた主任研究者の緒方先生と研究班事務局の皆様、及び研究班員としてご協力いただいた多くの研究協力者の皆様、関係の皆様から心から感謝を申し上げます。

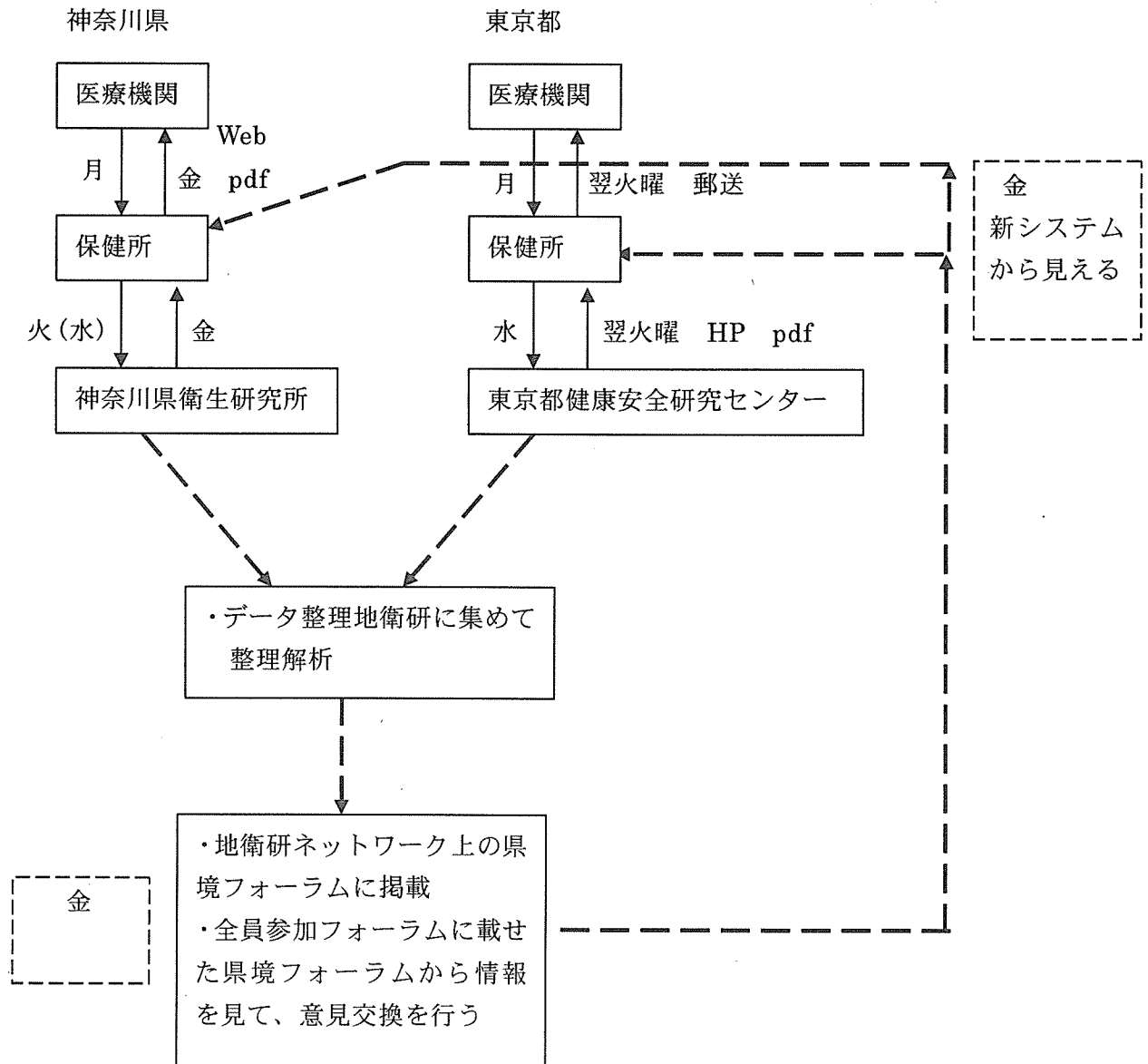
## H. 参考文献

1) 上木隆人, 他. 健康危機管理支援情報システムにおける地域フォーラム（ネットワーク）の検討（第1報）. 平成15年度厚生労働科学研究. 健康危機管理情報の網羅的収集と評価に関する研究報告書（主任研

究者緒方裕光). p45-p55. 平成16年3月2) 上木隆人, 他. 健康危機管理支援情報システムにおける地域フォーラム(ネットワーク)の検討(第2報). 厚生労働科学研究健康科学総合研究事業. 健康危機管理情報の網羅的収集と評価に関する調査研究.

16年度総括分担研究報告書(主任研究者緒方裕光). p57-p77. 平成17年3月3) 健康危機管理情報システム検討会. 健康危機管理情報システムについて. 平成14年3月. 厚生労働省.

参考図 流れ図(通常の週報と県境フォーラム感染症情報)



(太い点線が県境フォーラムで作られた流れ)